

大学名 金沢大学

第69号 特集テーマ「国立大学のこれから」

表題 観光に新たな価値を ～「観光デザイン学類」令和6年度から入学定員大幅増～

金沢大学は、新しい観光の実現に向け、令和6年度から融合学域観光デザイン学類の入学定員を20名から55名へ増員する。データサイエンス、マーケティングなどの文理融合教育を通じて、未来の観光の価値創造に寄与する人材育成に取り組む。

観光デザイン学類の取り組みの特長

観光デザイン学類では、「新しい観光」の実現、すなわち人・資源・なりわいの好循環を創出することを目指す。本学類で観光専門教育を受けた「人」が、新たな観光「資源」を生み出し、「なりわい」(＝関連産業)が発展し、さらなる人の流動が生まれる。この好循環により、地域全体が世界とつながりを持ちながら持続的に発展するため、地域と大学とが一丸となり、グローバルな視点を持った新しい観光価値をデザインできる専門人材育成プログラムを実施する。

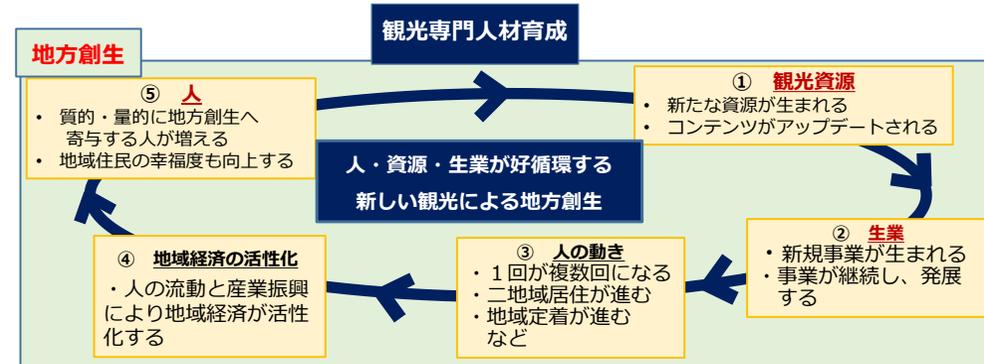
石川、北陸のフィールドを最大限活用した実践型教育「観光プロジェクト演習」では、学生が自治体や産業界と協働し、フィールドワークを行う。一例として、金沢有数の観光名所で、市民の台所としても知られる近江町市場では、学生が市場の持続的発展の課題に取り組む。地域関係者とも密接に連携しながら、デジタル技術の導入やグローバル化への対応など、新たな観光価値を提案し、地域全体の発展を目指す。

最先端の研究成果を教育へ還元

金沢大学では、令和5年4月に「先端観光科学研究所」を新設した。観光を「サイエンス」として捉え、様々なデータを活用した文・理・医の融合研究を推進している。同研究所における研究成果を観光デザイン学類での教育に還元し、移動や購買情報のビッグデータ、生理学的知見を用いた共感の可視化など、先端科学に基づいた観光科学教育を展開していく。

参考URL

融合学域観光学類ウェブサイト https://innov.w3.kanazawa-u.ac.jp/tourism_design/t_philosophy/
先端観光科学研究所ウェブサイト <https://tabi-sciences.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



近江町市場でのフィールドワーク